

小規模企業景気動向調査

[2020年9月期調査]

～全業種で4カ月連続の改善も、未だ本格的な回復には程遠い小規模企業景況～

2020年10月28日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2020年9月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…全業種で4カ月連続の改善も、未だ本格的な回復には程遠い小規模企業景況…◇

9月期の小規模企業の業況DIは、全業種で4カ月連続の改善となり、特に、回復が遅れていたサービス業については、各種景気刺激策やGoToキャンペーンの利用で観光需要に回復の兆しが見られ、全DIが10pt以上改善し、緊急事態宣言前の3月期を上回る水準に回復した。しかし、全業種とも水準は未だにコロナ禍以前には戻らず、回復には程遠い状況である。経営指導員からは、生活様式や企業活動が激的な変化に直面している中、変化に対応できている事業者と対応に苦慮している事業者との間で、回復に差がでてきているとのコメントがあった。

<製造業> ◇…自動車関連で明るい動きがあるも、力強さに欠ける製造業…◇

製造業は、4カ月連続で全DIが5pt以上の改善となった。機械・金属関連は大手自動車メーカーの生産が回復してきたため、受注が増え、売上増加傾向にあるとの声があった。繊維関連は、一部で、新型コロナウイルス感染症のための布製マスクや医療用防護服等の売上は拡大傾向にあるが、展示会の中止や催事販売を再開しても客足が鈍い等、全体的には厳しい状況が続いている。食料品関連は、先月と同様、需要分野が内食向けか外食向けによって回復度合いに大きな差が見られるとのコメントがあった。

<建設業> ◇…回復基調が加速も、今後に不安が残る建設業…◇

建設業は4カ月連続で全DIが改善した。業況DIの改善幅は、緊急事態宣言後最大となった。公共工事については、引き続き堅調であるとの声が多く聞かれた、また、民需の住宅関連でも、新規着工やリフォーム等で延期していた工事が動きつつあり、加えて、資材不足も解消されつつあるため、復調の兆しがある。しかし、昨年ほどの工事量は確保できていない事業者も多く、また、消費者心理や投資意欲が冷え込んでいるため、今後の経済状況が不透明であることから、先行きを懸念するコメントが目立った。

<小売業> ◇…消費意欲が鈍く、小幅な回復にとどまった小売業…◇

小売業は、全業種の中で唯一資金繰りDIがマイナスとなり、他のDIは小幅な改善にとどまった。耐久消費材関連は、景気刺激策の効果もあり、先月ほどではないが、好調を維持している。食料品関連は、内食需要は堅調であるが、天候不順による野菜の不作や鮮魚の不漁による価格の高騰等、伸び悩んだ。衣料品関連は、景気刺激策の効果もあり、人の動きは出てきたが、未だ外出自粛傾向は根強く、また、猛暑の影響で秋物の動きが悪く、資金繰りが悪化している。全般的には、消費意欲が鈍いとのコメントが目立った。

<サービス業> ◇…宿泊業・理美容業を中心に大幅な改善となったサービス業…◇

サービス業は、全DIで4か月連続で改善し、緊急事態宣言前の3月期の水準を超えた。理美容業については、外出への抵抗が薄れ、顧客が戻りつつあるとのコメントが目立った。宿泊業は、GoToキャンペーン等の効果により、宿泊客や予約が増加し、稼働率が上昇している。また、それに伴い宿泊関連の洗濯業も回復基調にある。一方、高級宿泊施設に需要が集中し、低価格な施設や団体客・インバウンド向けの施設は厳しい状況が続いているとの声もあった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲ 61.8	▲ 54.9	6.9	▲ 68.8	▲ 62.6	6.2	▲ 53.1	▲ 44.8	8.3
採算	▲ 59.6	▲ 51.8	7.8	▲ 67.9	▲ 60.2	7.7	▲ 51.1	▲ 42.8	8.3
資金繰り	▲ 58.3	▲ 52.5	5.8	▲ 63.8	▲ 56.9	6.9	▲ 53.5	▲ 48.0	5.5
業況	▲ 63.1	▲ 55.4	7.7	▲ 71.1	▲ 65.5	5.6	▲ 54.6	▲ 45.6	9.0

業種	小売業			サービス業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲ 55.4	▲ 53.0	2.4	▲ 70.0	▲ 59.1	10.9
採算	▲ 54.3	▲ 51.9	2.4	▲ 65.1	▲ 52.5	12.6
資金繰り	▲ 52.2	▲ 52.4	▲ 0.2	▲ 63.4	▲ 52.7	10.7
業況	▲ 57.0	▲ 55.6	1.4	▲ 69.7	▲ 54.7	15.0

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

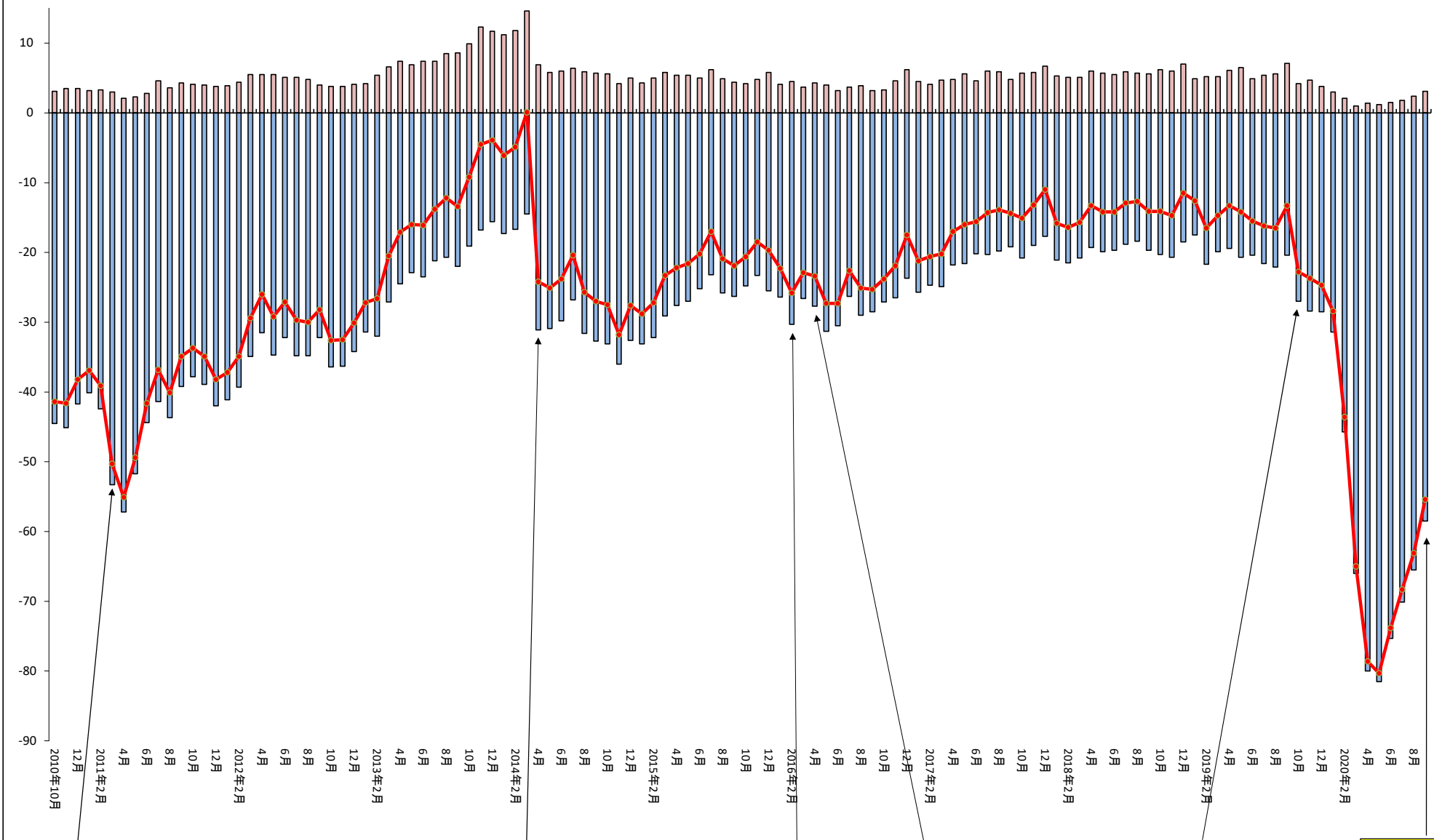
全国商工会連合会 政策推進部 事業環境課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:牧

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
● DI



11年3月
東日本大震災
(-50.3)

14年4月
消費税率8%に引上げ
(-24.2)

16年2月16日
日銀マイナス金利導入
(-25.8)

17年4月
熊本地震
(-23.4)

19年10月
消費税率10%引上げ
(-22.8)

20年9月
(-55.4)

小規模企業景気動向調査(9月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・コロナ第2波が落ち着き始め、国や県、市の景気対策が動き始め、景気の回復の起爆剤として期待できる状況になりつつある。

(東近江市商工会)

・市内動向は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しつつ、経済活動の再開が進められる中、個人消費は、緩やかに持ち直し傾向を維持している。月度では、設備投資は弱含んでいるが、総じて景況感は改善傾向を強めており、生産活動は持ち直している。9月の大型連休は、外出支出が好調をみた。特に、Go Toキャンペーンなどによる大規模な経済対策の効果で個人消費の持ち直しが大きくなるとの期待が大きい反面、秋から冬にかけてさらなる感染者の再拡大を見た場合の、消費者マインドの悪化を不安視する声も多い。

(川西市商工会)

・各地域でのプレミアム商品券の発行や緊急事態宣言の解除等で若干ですが経済が回り始めている印象。以前よりはネガティブな相談は減っている。

(南風原町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・観光バス、飲食店といった新型コロナウイルスの影響が甚大であった企業も修学旅行の実行や観光需要の戻りにより回復基調にある。一方で今後、小規模事業者を中心に長引く売上低迷の中で新型コロナに起因し、事業意欲が削がれ廃業につながる懸念がある。

(みやぎ北上商工会)

・コロナ禍の影響は継続しているものの、国が主導する「GO To キャンペーン」により需要は換気され、年末に向けて消費者の動きは活発になってくると考えられる。しかしながら、小売業・サービス業中心に前年と比較した場合に自社にどこまでの恩恵が得られるかは不透明と感じている事業者は多い。製造業などは、遠方の取引先と非対面、オンラインでの商談になることも多く、デジタル化へが必須と考える事業者も散見された。

(富山市南商工会 婦中支部センター)

・新型コロナウイルスの影響により、昨年同月と比べて全体的には不況下にあるが、一部の事業所によっては経済対策によって大きく業績を伸ばしている状況のところもあり、IT化に向けての対応力など事業所の企業力や企画力などの対応力により大きな差が出てきており、2極化が進んでいる。

(坂井市商工会)

・新型コロナウイルス感染症によりビジネスモデルの転換に対応出来ている事業者とそうでない事業者が売上の回復傾向ではっきり分かれるようになった。まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響が続く業種(飲食・宿泊業等)ではGoToキャンペーンに期待している状態である。

(養老町商工会)

2. 製造業

・自動車関連の事業者は、自動車販売増加に伴い、一部のラインでは受注が増加傾向にある。

(武豊町商工会)

・食料品製造業は企業間取引(BTOB)が増加。売上回復の兆しが見える。

(霧島市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・催事販売が再開され、大都市圏の百貨店に出展する機会が増えたが、例年より来客数が少ないため売上は低迷している

(軽米町商工会)

・縫製関連の事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響で布マスクの需要が増えたため、通常商品の減少分を補っている状況になっている。

(能登鹿北商工会)

・新型コロナウイルスの影響は、製造業全体で見れば、業態により度合いが違う。食料品製造業の一部で厳しい状況が続いている。さらに水産関連は、依然として漁獲量が安定せず原材料の高騰と共にその確保に苦慮している。金属加工業については、新型コロナウイルスの影響による製造調整が続いていたが、回復基調にある。

(みえ熊野古道商工会)

・食料品製造業においては、一般需要は堅調も、飲食店や観光・給食等の法人需要減による影響が長引いており厳しい状況。繊維工業は、周辺企業等の影響だけに留まらず、2次製品等の次工程の製造・販売・売上にも大きく影響しており、商談においても展示会等の中止による影響を受けている。機械金属工業においては、中国工場の生産停止等サプライチェーンの毀損による影響が末端に波及しており引き続き厳しい状況である。

(瀬田商工会)

・食料品製造の業者は、引き続きコロナの影響により売上高は減少している。繊維工業の製造業者においては、9月期においてもコロナ感染防止のための医療用防護服を製造しており、数字的にも昨年同月比で良い結果となった。先月に引き続き、防護服の製造で売上高がカバーされている。機械金属の関連業者は、自動車メーカーの生産が回復しつつあり、8月から比較すると売上高は上がっている。自動車メーカーの生産が10月から復調する見込みで、来月からの受注の増加が見込まれる。

(柳川市商工会)

3. 建設業

＜改善傾向を示すコメント＞

・建設業全体において資材不足も解消され受注も順調であることから前年と比較しても変わらない状況となっており
(福井北商工会)
・建設・建築工事の一部では停滞していた受注工事が再開しているところも見えだすなど、大きな回復には至っていないが、明るい兆しとなる。住宅関連においても、少しずつではあるが、顧客との商談・販売も動き出している。寒い時期に向けて、コロナウイルスとインフルエンザのツイン感染の心配も、今後の動向において懸念されている。

(川西市商工会)

・7月豪雨災害の影響により、着工に入れない業者が多かったが9月に入り復旧工事が再開、受注数も増えたことから一次的に業況は好転した。

(玖珠町商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

・一般土木建築工事関連の事業者は、事業所により業績が2分され、良いところは仕事があるが人が足りず回らない状況、悪いところは仕事が無く、来年の春まで非常に厳しい状況になると見込んでいる。民間工事の案件が全くなく、景気の後退が設備投資を控える動きにつながっていると見える。

(かづの商工会)

・建築関連の事業者は、中止していた工事が再開し、やや回復傾向にあるが、公共工事等は次年度以降の予算次第では厳しくなると心配する事業者は多い。

(稲敷市商工会)

・工事が全般的に増えてきてはいるものの、全体的に設備投資などを控える傾向があり、本格的な回復基調とまではいかない状況である。

(栄町商工会)

・一般個人住宅の新築・リフォーム工事が一時停止していたものが再開となっている。入金は遅くなるが、回復の兆しが見えている。

(養老町商工会)

・公共工事を取り扱う事業所は安定が見られる。また個人向けの事業も夏以降、個人よりの受注が好調であり回復感がみられる。ただし、それぞれ潜在的な需要の前倒し受注によるものとの見方もできるため将来の情勢については不透明感が残る。

(宇美町商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

- ・食料品小売業はコロナ影響で在宅ワークになり、内食傾向が続いている為、売上は好調になっている。
(大磯町商工会)
- ・食料品関連の小売業は、新型コロナウイルス感染症の影響で、消費の流出が減り、町が住民に商品券を交付した影響などで、売り上げを維持している。

(南木曾商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・衣料品小売…学生衣料は例年並みの売上を維持、婦人衣料は年々売上が減少傾向。イベント中止や遠出がないので購入する人は減っている。食料品小売…地域イベントが中止になり、売上が減少。酒類と食料品の売上も下がっていることから、自家用品の需要低迷。また、卸先も1件減っている。地域動向においては生協が強く、小売店は敵わない。来店者は減少しているが、配達の需要は増加している。耐久消費財…テレワーク等の職場環境の変化もありパソコン販売数が増加傾向。メーカーでも品薄が続いていたが大分落ち付いてきが付属部品(カメラ、マイク等)は品薄が継続。急速に高まったエアコン需要が一服。商品券等新たな需要喚起策に期待している。

(由利本荘市商工会)

- ・野菜等の仕入単価高騰により、厳しい事業所あり。

(よこて市商工会)

- ・食料品小売業は前年並みの売上で踏みとどまっているが、衣料品小売業においては衣類購入の鈍化傾向が依然として続いており、採算・資金繰り・業況はやや悪化と判断する。

(狛江市商工会)

- ・プレミアム付商品券の影響で家電が売れた。生鮮食料品小売は外食が減少した代わりに増加。葉物のキャベツ、レタスは天候の影響で仕入価格が高騰。鮮魚も漁獲量減少で高いものもある。衣料品店では祭関連商品を仕入してあったがコロナの影響で祭り中止となり関連商品の売上が無くなり在庫を1年抱える事となった。

(浅羽町商工会)

- ・衣料品小売業は残暑が厳しかったこともあり、例年より秋冬物の動きが悪い状況になっている。耐久消費財は新型コロナウイルスの影響が続いており、大手では一部持ち直しの企業もあるようであるが、小規模事業者は厳しい状況である。

(大津北商工会)

- ・衣料品小売業において、夏物に続いて秋物も振るわなかった事業者があった。冬に期待している。

(湖南市商工会)

- ・猛暑の影響で野菜の仕入れ単価が上昇した。その影響で弁当などの総菜の原価率が上昇した。

(備前東商工会 吉永支所)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・旅館はビジネス客により昨年並みに回復。洗濯業は一般クリーニングは依然厳しいが、リネン関係は新しい取組などにより昨年まではもどらないものの、回復基調。

(小矢部市商工会 津沢支所)

・旅館・宿泊業は「GOTOトラベル」もあり予約が増加。年末年始の予約も満室となっている。

(霧島市商工会)

・ゴーツートラベル効果で9月は観光客が増加しており宿泊関係を中心に観光関連の売上高は前年比増で推移している。予約も11月半ばくらいまで入ってきており稼働率も上がってきている。

(屋久島町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・旅館…宴会利用はほとんど無いが、各種観光振興キャンペーンの効果により、週末を中心に満室になるほどに業績は好転。それに伴い従業員がなかなか休憩や休日がとれず、疲弊しつつある。洗濯…コロナの影響で離職者数が増加するなど需要が低下。行事関連の中止の影響が大きく、売上が減少しているため、例年よりもキャンペーンを多めに開催。高齢化・後継者不在による本荘市内のクリーニング屋3件は廃業。理美容…集客はほぼ戻りつつある。仕入単価が上がったものもあり、今後価格面の見直しが必要になる可能性もあり。高齢顧客が多いので感染対策には人一倍気を使っている。

(由利本荘市商工会)

・宿泊業は、新型コロナウイルス感染防止により合宿客が大きく減少しているため、合宿客を主に受けて入れている宿は非常に苦しい。登山や観光など一般客を主に受け入れている宿は、一部GoTOTOトラベル事業により持ち直しているところもあるが、もともとの宿泊料金が低いところを中心に前年より客数が少ない。また、感染防止のため受入人数を制限しているところが多く、そのために売上が半分以下に減少している状況が続いている。クリーニング業は、宿泊施設からの受注減少が続いており、非常に厳しい。理美容業は、観光業に比べると新型コロナウイルスの影響は少ないが、お客様の利用間隔が延びるなどの悪影響が依然続いている。

(妙高高原商工会)

・宿泊業は、GOTOトラベル事業により、高単価な宿泊施設は来宿者が増えているとのこと。ただ、安価な宿泊施設は来宿者が少ないとのことだった。

(岩美町商工会)

・旅館業は7月豪雨の影響で多くの事業が休業。復旧までの見通しはたっていない。影響がなかった旅館業は「GOTOトラベル」等ので回復に期待。理美容業はコロナの影響も落ち着き、例年同様の売上。

(日田地区商工会 大山支所)